

平成30年 6月15日(金)

の先生方へ

## 研究授業のご案内

実習生

指導教諭:

教育実習生としてお世話になっております。関西大学文学部4回生のと申します。6月18日(月)をもちまして3週間の教育実習が終了いたします。における教育実習の総仕上げとして下記の通りに研究授業を行わせていただきます。先生方におかれましては大変ご多忙とは存じますが、お時間のご都合が合うのであれば是非とも授業を参観いただき、ご指導いただければと思います。よろしく願いいたします。

記

日時	6月18日(月) 第6時限
クラス	1年6組
場所	406教室
授業内容	世界史A 「宗教改革」

※同日7時限目に1年4組(404教室)で同じ内容の授業を行います

以上

## 世界史A学習指導案

日時:2018年6月18日(月)第6時限

対象:1年6組 場所:406教室

指導教諭:

実習生:

### 1. 単元名 宗教改革

### 2. 使用教材 『世界の歴史 改訂版』(山川出版社)

『ニューステージ 世界史詳覧』(浜島書店)

### 3. 生徒観

1年6組の生徒たちは比較的穏やかで真面目である。授業に対する集中力は高いものの、自ら発言する生徒は少なく、発問などに対するリアクションも少し弱い。実習校において世界史Aは1年時の必修科目であるため苦手意識を持つ生徒もいるが、世界史に関する興味や関心が高い生徒も多数見受けられ、授業後の質問やノートにメモを取るなど積極的に授業に取り組む姿勢もみられる。

### 4. 教材観

本単元では16世紀のヨーロッパ、キリスト教カトリック世界で起きた信仰・教会制度の改革である「宗教改革」について扱う。14世紀頃から見られ始めたルネサンスの動きとともに教会の改革を求める声が各地であがった。中でも、ドイツ(神聖ローマ帝国)でのルターの改革が宗教改革の口火を切ることとなった。改革がヨーロッパ各地に広がるにつれ、旧教徒(カトリック)と新教徒(プロテスタント)の対立が激化し、王位継承問題などの政治問題と重なり宗教戦争へと発展する。このような状態の中、カトリックの立て直しを図るためにイエズス会が結成され、積極的な海外での宣教活動をおこなった。そのような背景から1549年にフランシスコ・ザビエルが日本へ来航する。

### 5. 指導観

実習校は45分×7限授業が行われている。そのため導入部分からスムーズに主題に入っていけるように意識したい。授業については講義を中心に行うが、生徒が「聞くのみ」「書くのみ」といった一方的な学習活動にならないように注意し、発問を中心に生徒とのやり取りを心掛けたい。また、授業内容が印象に残るよう学習事項に関するエピソードや身近なものに関連した知識、肖像画や系図などの資料を用いて生徒の興味や関心をひきつけ理解を深められるような授業を展開したい。

### 6. 単元の目標

- ・ヨーロッパ各地で起きた宗教改革の内容や影響について理解する。【知識・理解】
- ・改革を推し進めたルターやカルヴァンの考えを考察し、文章で表現できる【思考・判断・表現】
- ・「宗教改革」を学習し、更に自ら踏み込み学ぼうとする【関心・意欲・態度】

7. 単元の指導計画 (2時間)

- 1時間目 ルターと宗教改革
- 2時間目 カルヴァンと改革の広がり・・・(本時)

8. 本時の目標

- ・カルヴァンの「予定説」や改革が後のヨーロッパに大きな影響を与えることを理解させる
- ・イギリスでの改革は信仰面ではなく政治面から改革が行われたことを理解させる
- ・対抗宗教改革からイエズス会が日本に来た理由を理解させる

9. 本時の授業展開

	学習内容	学習活動	指導上の留意点等
導入 3分	・あいさつ ・前時の復習	・前時(ルターの改革)について復習し、その影響がスイスに及び改革が始まることを説明する	
展開 ① 10分	・カルヴァン「予定説」	・フランス人のカルヴァンがスイスのジュネーブで改革をおこなうことを説明する  ・カルヴァンが説いた「予定説」について考察し、カルヴァンの教えについて理解させる  ・営利活動、蓄財の肯定からどういった人たちからカルヴァンの教えは支持されたか考えさせる  <b>発問</b> どういった人たちがカルヴァンの教えを支持したのだろうか?⇒商工業者中心に普及	・カルヴァン(パネル)の掲示  ・カトリック、ルターの考え方と比較する
	・カルヴァン派の拡大	・カルヴァンの教えがヨーロッパ各地に広まり呼称が地域ごとに変わることを説明する  ・拡大したカルヴァン派とカトリックとの対立が政治的要因を交え宗教戦争に発展し、その後の主権国家の形成につながることを説明する	

展開 ② 10分	・イギリスでの改革  ヘンリ8世 イギリス国教会 エリザベス1世	・イギリスでの改革は前者の改革とはことなり信仰面ではなく政治面から改革が行われたことを説明する  ・ヘンリ8世に関する系図を掲示し離婚問題とイギリス国教会について理解させる	・ヘンリ8世関係系図の掲示
展開 ③ 7分	・対抗宗教改革 トリエント宗教会議  イエズス会	・カトリックの立て直しを図るため対抗宗教改革がおこなわれたことを理解させる  <b>発問</b> ザビエルはなぜ日本に来たのだろうか?  ・イエズス会の積極的な海外での宣教活動によって日本にもキリスト教が伝わったという経緯を理解させる(ザビエル来日の背景にカトリックの立て直しがあったことを理解させる)	・ザビエル(パネル)の掲示  ・資料集 p.109,115
まとめ 15分	・小テスト  ・あいさつ	・前時と本時の学習内容の小テスト(10問)を実施し知識の定着を図る。  ・教科書を5分間読み込ませ、その後3分間でテストをおこなう。終了後、生徒同士でテストを交換し採点、回収  ・あいさつ	・テスト環境の整備  〔評価の観点〕 ・「宗教改革」に関する内容について理解できているか

**御高評**